

# テロリストは誰か？

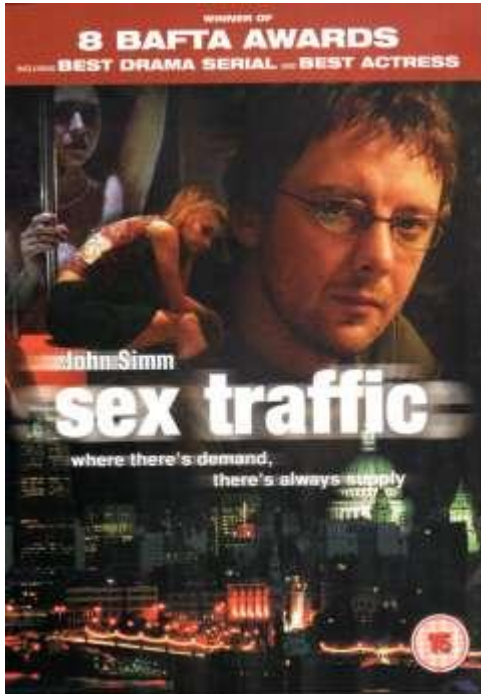


# 人身売買

- 女性の人身取引
- 子どもの人身取引
- 臓器売買
- 強制労働／奴隷

# 女性の人身売買

## Trafficking in Persons



人身売買される子供たちを知っていますか 2

### だまされて 日本に連れてこられる 少女たち

た女性もいます。だから多く、の人は怖くて逃げられない。大佐前に駆け込みで来た人は、でこの移住となるという。

「みんなマフィア」なところ、替た。全身紐だらを押し付けら



今、日本がアジア最大の「人身売買受け入れ国」になっているという。性産業で働く外国人女性のなかに誘拐同然で日本に送られてきた人身売買の被害者がいるのだ。しかも、そのなかには少女も数多く含まれている。彼女たちはどのように日本に連れてこられたのか。

日本は 人身売買の 受け入れ 大国です。



# 女性の人身売買

- 被害者の「犯罪者」化  
被害者学 (Victimology) → 被害者の有責性  
入管政策 (Immigration) → 不法入国化  
保護の欠如 (Lack of Protection) → CoE条約
- Palermo Protocol (国連人身取引禁止条約)
- 米国の国務省人権レポート  
人身取引レポート(5段階で各国を評価)
- Polaris Project: 人身取引に取り組むNGO
- JNATIP: 人身取引と闘うNGO連合
- 婦人売買禁止条約: 戦前戦中の「慰安婦」問題

# 人身売買について

- **その1: 人身取引とは、本人の意に反した、国境を越える強制移動のこと?**
- **真実:** 人身取引は「現代の奴隷制」とも言われ、強制労働や性的に搾取する目的のために人を支配下におく行為をさします。国境を越えた移動がなくても、人身取引は起こりえます。人の密入国と混同して考えられやすい問題ですが、密入国と違って、人身取引の場合は「本人の意に反した」強制力や脅迫などが必ず伴います。
- **その2: 人身取引の被害者は外国人だけ?**
- **真実:** 安い労働力や性の需要のために、人びとはその国内でも取引されています。国内間で行われる人身取引規模のほうがはるかに多いという地域もあります。日本でも、性的搾取を目的とした人身取引の被害者の中には外国人だけでなく、多くの日本人女性や子どもたちも存在します。暴力や脅迫、借金などを理由に、強制的に性風俗産業等に従事させられる人々は、人身取引の被害者であるという国際的な見解があります。2000年に採択され国連の人身取引禁止議定書ならびに日本の国内法は、18歳未満の子どもを性風俗産業等で就労させることを禁止しています。
- **その3: 性風俗産業で働く外国人の女性たち＝犯罪者?**
- **真実:** 性風俗産業で、ホステスやマッサージの女性スタッフとして働く外国人に対して「不法就労者」や「不法滞在者」というネガティブなイメージだけが先行し、彼らを犯罪者として見てしまうこともあるかもしれません。性風俗産業に従事する全ての外国人が人身取引の犠牲になっているわけではありません。しかし多くの人たちが、日本までの渡航費や日本での生活工面費として多額の手数料を課され、その上パスポートも取り上げられるなど、身動きの出来ない債務奴隷状態に陥っているのが現状です。
- **その4: 貧困、貧富の差が人身取引の主な原因?**
- **真実:** 貧困や貧富の差、雇用機会が平等でないことはなどは、一部の人が人身取引の被害を受けやすい環境をつくる要因ではありますが、これらが人身取引の主な原因ではありません。人身取引は、そのための高い需要がありそして多くの利益を生み出し、その上人身取引業者は取り締まられるリスクがとて低い犯罪産業です。需要側、人身取引を斡旋する側の処罰を強化しない限り、他の要因に関係なく人身取引は存続します。人身取引の横行を、貧困や不平等のみが原因であると考えすることは、人身取引に加担している需要や人身取引業者への責任追及をそらすことになりかねません。ポラリスプロジェクトは効果的な対策として、需要国における罰則強化などのさらなる司法制度の改善が必要だと考えています。

# 子どもの人身取引

- セックス・ビジネス／児童ポルノ  
児童ポルノ規制→強い反対論の存在  
日本の児童買春児童ポルノ処罰法
- 抛出国  
ロシア、タイ、東南アジア、東欧諸国
- 養子縁組を利用した、人身取引
- 別の文脈での、児童拐取の民事的側面条約  
(いわゆるハーグ条約)

# 児童労働と奴隷



# 強制労働

- 研修生・技能実習生
- 債務奴隷
- 軍事政権による強制労働  
ビルマ(ミャンマー)
- 刑務所労働  
マルクス「ゴータ綱領批判」



# HIV/AIDS

- 臓器売買における生命の危険／リスク
- 性産業などにおけるHIV陽性の問題  
特にアフリカ、東南アジア
- 国際的人身取引ネットワークとHIV  
貧困地域とHIV感染地域が重なる
- 性と生殖に関する医学、保健の問題